

2018年度事業報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

NPO法人どんまい

1 事業実施の方針、活動について

- ① 共同生活援助事業所どんまいハウスでは、精神障がい者の方の社会促進を目指し、当事者の方が安心して自分らしく地域で暮せるように生活の場、相談サポート体制を充実させました。また、設備等古くなった本町センター全施設の改修を行いました。松山市のチャレンジ事業も活用しながら、体験外泊等を行い、長期入院の方の退院促進に努めました。

2018年度 どんまいハウス実績

(2019年3月末 現在)

見学者数	新規入居者数	退所者数	入居者数
18名	4名	3名	28名

- ② 就労継続支援B型事業所どんまいクラブでは、2019年3月末現在で定員20名に対し登録者数30名、平均通所者数19.2名となっており、目標を達成することができました。
授産事業では、自主製品の製作・販売、アメニティやDM等の委託作業、マンション清掃をはじめとする施設外就労を引き続き行いました。自主製品については、愛媛県の事業であるブラッシュアップ協議会へ登録を行い、商品力のアップや販売技術の研鑽のためのアドバイスをいただいたこともあり、平成29年度に比べ14%の売上増を実現することができました。また、委託作業ではそれぞれの作業に対する意識や技術があがることで企業からの様々な要望に応えることができ、従来の作業に加え新規で作業依頼を受けることも増えています。施設外就労では清掃物件の増加と平成29年度より取り組んだ品だし作業や厨房作業が定着することで作業の幅を広げ、工賃向上へ大きな成果をあげることができました。
また、お花見や忘年会、研修旅行等の年中行事やレクリエーションも積極的に行い、利用者間のつながりを深め、楽しみを共有することで地域生活での居場所としての役割を果たすことができました。
- ③ 就労継続支援B型事業所ゆっくりクラブは、2019年3月末現在で定員20名、登録者数29名、2018年度平均通所者数17.1名となっております。主な授産事業の弁当事業では、口コミでの紹介や、松山市が進めている「まつやま・もっと野菜を！プロジェクト」の参加により、月平均の注文数が昨年度より200食程度増え、工賃向上につながりました。
また、「医療機関と公共職業安定所の連携による就労支援モデル事業」により、1名の利用者が一般就労されました。退所後も本人が相談できる場所の一つとして関係を保ち、就労の継続につながっています。その他、利用者からの声を基に研修旅行やレクリエーションを企画し、利用者間の親睦や社会性の向上につながりました。
- ④ 就労継続支援B型事業所いんさつの咲々屋は、2019年3月末現在で登録者数32名、2018年度の平均通所者数は18.3名でした。主な授産事業の印刷事業では、利用者の作業効率や技術向上により製品の質が上がり行政や民間企業などからのリピート数も増え、時給405円の目標工賃を達成しました。
ICT・印刷の共同受注窓口である『えひめICTチャレンジド事業組合(e-ICA)』にも登録し、定例会や研修会に参加し関係機関との連携や情報交換もおこない、新規での受注も増えています。
また、昨年度に続き愛媛障害者職業センターやえひめ障がい者就業・生活支援センターとの連携を通して就労支援に力を入れ、合同面接会を経て1名が一般企業へ就職しました。半年間はジョブコーチと連携して職場訪問を行い長期就労ができるようサポートし、半年経過後も継続して会社及び本人と連携を取っています。その他にも、忘年会や研修旅行など利用者間での親睦や社会性を図る機会を設け、地域のバザーや花見などにも参加しました。
- ⑤ 指定一般・特定相談支援事業所まいんは、2019年3月末現在、契約数は計画相談(84名)、地域移行相談(7名)、地域定着相談(9名)です。計画相談では、利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等に努め、サービス等利用計画書の作成及び評価を行いました。地域移行については、一人でも多くの人が地域での生活を取り戻せるよう、退院を目指し、2018度は3名の方が退院いたしました。

- ⑥ シェアハウスこだちは、これから地域に出て社会生活を始めようと思っているが不安が残るという方、家庭環境や住居等の事情により住居の確保が困難な方に対して一定期間住居を提供し、自立に向けての日常生活の最低限の援助を行うため、定員6名共同住居として2018年6月に開所しました。しかし、支援体制の少なさから必要性のある方に結びつきづらい状況にあったため支援体制について検討し、週4日支援員が入る体制を整えました。チャレンジ事業やワンステップ事業など松山市の地域移行・定着支援事業を利用しながら見学体験を行い、2019年3月末現在で4名の方が入居しています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	人数
障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	共同生活援助事業所 どんまいハウス	4月1日 ～3月31日	松山市内	23名	松山市内の精神 障害者30名
	就労継続支援B型事業所 どんまいクラブ	4月1日 ～3月31日	松山市内	5名	松山市内の精神 障害者34名
	就労継続支援B型事業所 ゆっくりクラブ	4月1日 ～3月31日	松山市内	8名	松山市内の精神 障害者31名
	就労継続支援B型事業所 いんさつの咲々屋	4月1日 ～3月31日	松山市内	6名	松山市内の精神 障害者32名
障害者総合支援法に基づく相談支援事業	一般・特定相談支援事業所 まいん	4月1日 ～3月31日	松山市内	3名	松山市内の精神 障害者84名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	シェアハウスこだち	4月1日 ～3月31日	松山市内	45名	全職員及び 実習生
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	法人ピアサポート	4月1日 ～3月31日	松山市内	45名	全職員及び 実習生
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	松山市のピアサポート事業 チャレンジ事業等への参加 協力、内外主催の研修会、他事業所との交流会、勉強会など	4月1日 ～3月31日	松山市内	45名	全職員及び 実習生

第2号議案 2018年度NPO法人どんまい活動報告書

月	日	活動	参加者
4月	1日	共同生活援助事業所みなも開設	
	19日	松山市地域移行検討会	河崎
	21日	松山記念春のふれあい祭り	
	24日	職員研修（今年度目標）	理事長
5月	8日	法人連絡協議会	濱石
	9日	支援連絡協議会	
	17日	人権教育推進委員会	
	19日	第16回NPO法人どんまい社員総会	
	22日	職員研修（虐待防止について）	講師 部長
	24日	こだち改築終了	
6月	1日	人権教育推進協議会総会	
	7日	愛媛県地域移行推進協議会	濱石
	10日	サロン・d e ・いずみ バーベキュー	
	12日	明治安田生命贈答式（炊き出しステーション）	理事長
	17日	愛媛県障がい者地域生活支援協議会 総会・研修会参加	綾田
	19日	社会福祉法人 光と風 グループホーム見学	中川
	20日	毎日新聞取材	理事長・理事
	23日	職員研修（個別支援計画について）	講師：サービス管理責任者
7月	11日	支援連絡会議	
	13日	松山記念ステップ研修会	自主研修
	25日	職員研修（地域移行定着とピアサポート事業）	講師：部長
	26日	人権教育推進委員会	
8月	8日	地域移行動機づけオープンハウス	どんまいハウス・いんさつの咲々屋
	9日	真光園夏祭り参加	B型事業所
	10日	職員研修（メンタルヘルス）講師	こころの葉代表 広瀬氏
	16日	松山市地域移行小部会	
	17日	和ホスピタル夏まつり	
	23日	相談支援従事者スキルアップ研修	
	24日	人権教育委員会	
		聖カタリナ大学実習生 より実習生1名	実習担当 綾戸
		健康診断	全職員
9月	7日	夕涼み会	81名出席
	12日	支援員連絡会議	
	12日	真光園家族会 みなも見学	
	15日	和ホスピタル研修会	自主研修
	18日	空と大地みなも見学	
	25日	職員研修（職業センターについて）	講師：職業センター
	28日	徳島県 地域移行勉強会受け入れ	
10月	17日	集団指導	富永・濱石
	22日	三番町・グループホーム消防訓練	
	25日	相談支援従事者スキルアップ研修	富永・綾戸
	23日	職員研修（防災について）	講師：竹田
			四国中央医療福祉専門学校 より実習生1名
11月	5日	ヘルパー事業所対象勉強会	
	6日	どんでんどんみなも見学	
	19日	職員研修（障がい特性について）	
		人事考課面談	理事長・管理者・職員
12月	3日	職員研修（栄養バランスについて）	講師、保健所 栄養士
	6日	和ホスピタル 地域移行交流会	
	7日	法人忘年会	
	20日	地域移行検討会	河崎
			利用者虐待アンケート調査実施
		J K A 2回目 自己評価	

1 月	2 日	就労継続支援B型事業所 開所	
	11 日	地域移行勉強会（北条地区）	
	15 日	人権教育研究大会	
	16 日	河原医療学園学生見学	
	22 日	管理者研修（指導をしにくい職員について）	講師：本田社労士
	24 日	河原学園企業説明会	中川・濱石
	28 日	職員研修（ピアサポーターとは）	講師：ピアマネ（川本・川崎）
2 月	8 日	ゆっくりクラブ実地指導	
	14 日	どんまいクラブ改修工事（21日まで）	
	15 日	レク部企画 事業所交流会	
	21 日	職員研修（障害支援区分について）	講師 谷本
	21 日	地域移行検討会	河崎
3 月	13 日	城西勝山会	ピアマネ・管理者
	19 日	城西勝山会	ピアマネ・管理者
	22 日	ピアサポーター交流会	
	26 日	職員研修（サービス管理責任者・初任者研修報告）	講師：竹田・松浦
	28 日	就業規則について勉強会	本田社労士・理事長・管理者
	24 日	NPO法人どんまい家族会	
	26 日	集団説明会	管理者 2 名
	27 日	相談支援事業所・ピアサポートスキルアップ研修	

■ 法人内定期開催

- ※ 精神保健福祉支援連絡会議（2カ月毎 奇数月）
- ※ 運営委員会（毎月1回 /理事長・理事・管理者）
- ※ 事業所会議（毎月1回 /管理者）
- ※ スタッフ会議（毎月1回 /職員全員）
- ※ 合同カンファレンス（毎月1回）
- ※ 虐待防止委員会（2カ月毎）
- ※ パソコン教室（月1回）

■ 定例出席会議

- ※ 地域移行検討会（相談支援専門員・担当職員1名）
- ※ ピアマネジャー会（ピアマネジャー2名）

■ ピアサポート事業（別紙）

■ その他

- ※ 法人としては愛媛県・松山市の地域移行検討会への参加、ピアサポート事業のマネージャーとしての協力、ピアサポーターの育成、人権教育推進協議会への参加、各大学、専修学校から実習性の受け入れ など、地域の精神保健福祉関係事業に積極的に参加協力しました。
- ※ 共同生活援助事業所みなも新設。本町センター、いずみ、も改築を行い高齢化した利用者でも安心、安全に暮らせる環境を整えています。また、自立の練習が出来る環境、支援体制の充実を行い、利用者の地域生活が豊かなものになるように努めています。
- ※ 以前グループホームとして運営していた「こだち」の改築を行い、共同住居「シェアハウスこだち」として新たなスタートを切っています。65才以上の精神障がい者の方、いきなりの単身生活は難しいけれどグループホームほど手厚い支援は必要ない方など、4月1日現在4名の方が暮らされています。
- ※ 毎週日曜日にサロンを開催。月1回は松山市の委託サロンとして地域移行定着利用者も受け入れた。25年間の長期入院で不安が大きかった方が、このサロンをきっかけに退院に結びついている。

2018年度ピアサポート活動について

《法人ピア事業》

【活動報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
見学対応		3			2	6	1	3	1		1		17
同行支援	1	2											3
体験発表													0
茶話会					4								4
その他				1			1	1			1	1	5
研修										1			1
法人ピア交流会		29								32		20	81
計	1	34	0	1	6	6	2	4	1	33	2	21	111

月に1回の頻度で法人内のピアサポーターとピア活動に興味のある当事者が集まり(ピア実行委員会)、総会の資料作りを行ったり、ピアサロンの開催について話し合いを行った。

1月には法人内のピアサポーターや当事者が集まり、ピアサロンを行い、3月には親睦会を行っている。

サロン活動を通じて、ピアサポートの普及啓発や後継者の育成など、さりげなくピア活動を知ってもらいたい、というピアサポーターの思いもありサロン開催につながっている。

ピア担当の職員も2ヶ月に1回の頻度で集まり、市の活動の報告や今後の法人としての方向性などについて検討を行った。

GHの見学対応、B型事業所の見学、体験のサポートや同行支援、家族会での見学対応などを行った。

ピアサポートについて当事者だけでなく、職員にもしっかり周知されていない現状があり、職員研修や外部から講師を呼び研修を受ける機会を設けた。

【今後の課題】

法人内でピアサポート活動を行うことにより、ピアサポートについて少しずつ周知はされてきている。しかし、しっかり浸透しているとは言えない現状があるため、職員・当事者共にスキルアップを図りながら、普及・啓発についての取り組み、課題の検討を行っていく。また、法人内の基盤をしっかり作り、同じ方向を向いて進んでいけるような体制作りも必要である。

《松山市地域移行・地域定着支援事業》

【活動報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
① 動機づけ支援(長期入院者)		2	1		7		1	3			3		17
② 動機づけ支援(支援者)		1	1			2							4
③ 話し相手(病院)													0
④ 話し相手(訪問)				1	2	1	2	1	1	2	1	2	13
⑤ 同行支援	1	1	1	1		1							5
⑥ 見学対応		2			1								3
⑦ ピア相談													0
⑧ その他				2	2	1							5
計	1	6	3	4	12	5	3	4	1	2	4	2	47

1月には宇和島市でピアサポーター研修・交流会が行われ、どんまいからは4名のピアサポーターが参加した。愛媛県全域のサポーターが集まり、各圏域での活動状況を知り、交流を深めることができた。他の圏域のサポーターの活動を知ることで、視野が広がり自身の活動を見つめ直すいい機会となった。

オープンハウスを2回実施した。8月は参加人数も多く、ピアサポーターと当事者がゆっくりに関わることが難しかったため2月は対象者を少人数に絞り動機付けにつながるよう配慮した。

GHでの話し相手の活動に定期的に入るようになり、月に1,2回程度固定で女性のピアサポーターが活動を行っている。

ピアサポーター意見交換会(スキルアップ研修)が年に2回開催され、他の法人のピアサポーターや職員と意見交換を行った。2月の意見交換会で宇和島での研修・交流会の発表をピアマネージャーとピアサポーターが行った。

地域生活移行動機付け支援普及媒体(マイブック)作成会議にピアサポーターとピアマネージャーが出席し、普及媒体の作成に関わった。

2ヶ月に1回開催されるピアマネージャー等連絡会に参加し、現状の課題や今後の活動について検討した。

【今後の課題】

2019年度のサポーター登録11名

昨年度はOT活動の中での体験発表やオープンハウスでの茶話会などの活動、話し相手の活動が中心となった。活動の内容や頻度に偏りもあったため、それぞれのサポーターの持ち味を生かせるような割り振りを検討する必要がある。今年度は3名のピアサポーターが新規で登録しているので、それぞれの強みを生かして活動を行っていきサポートしていきたい。

2019年度事業計画書(案)

2019年4月1日から2020年3月31日まで

NPO法人どんまい

事業実施の方針

法人は、障害者共同生活援助事業所、障害者就労継続支援B型事業所、一般・特定相談支援事業所の運営を事業の柱として、精神障害者の主体性、選択性を尊重した仲間作り、生きがい作り、障害者の人権に配慮したまちづくりに寄与したいと考えます。

- ① 障害者共同生活援助事業所どんまいハウスでは、社会的入院を余儀なくされている方たちの退院後の生活のサポートができる“どんまいハウス”(いずみ、こもれび、わかば、ひなた、みなも)5施設の運営をして社会的入院の方の退院促進を進め、入居者の単身生活に向けた自立のサポートをしていきます。長期入院患者の受け入れ可能人数を増やすべく、全体の定員を現行の30名から32名に変更。サービス管理責任者2名体制に変更し、入居者の方の主体的な生活をめざし、日常生活の自立支援、行事参加等も積極的に取り入れ、社会参加の機会を作ります。
- ② 就労継続支援B型事業所どんまいクラブでは、利用者に対して生産活動の機会を提供するとともに、利用者の個別の状況に応じた訓練を通して、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう支援を行います。ワンステップ事業の活用や各関係機関との連携を強めることで、有効な社会資源や現状、課題等をタイムラグなく把握し、支援に活かします。利用者一人ひとりのニーズにあった個別支援計画を作成し、高水準の達成度と通所者数の安定を目指すことで満足度の高い支援を目指します。また、職員同士の連携、情報共有を密にし、チーム支援力をあげるために研修等を通じた知識や技能の向上させ「学ぶ」集団を目指します。
- ③ 就労継続支援B型事業所ゆっくりクラブでは、日中活動や生産活動、その他の活動機会を提供し、個別支援計画をもとに、その知識及び能力の向上のために必要な支援や適切な指導、訓練を行っていきます。高齢の利用者やワンステップ事業の体験者などに負担なく行える作業が提供できるよう、新しい作業の創出や既存作業の見直しなどを行い、作業環境を整備します。弁当配食事業では、お客様とのつながりを大切にしながら、売り上げ向上を目指します。また、関係機関との連携を図りながら、本人のニーズや特性に合わせたアプローチで、継続的に就労支援を行っていきます。
- ④ 就労継続支援B型事業所いんさつの咲々屋は、一人ひとりの特性や得意なことを活かし協力しながら技術向上や効率化を図ることでその知識及び能力の向上のために必要な支援をすると共に適切な指導や訓練を行っていきます。共同受注の活動にも積極的に参加し販路拡大や利益向上により平均工賃が増えるよう事業展開していきます。また、他機関と連携を図りながら職場見学や施設外支援など個人の就労支援に力を入れて積極的にを行い、就労希望者のニーズに対応できる事業所を目指して少なくとも1名以上は就労に繋げることを目指します。その中で、利用者個々のニーズに合った関わりと隠れたニーズに気づき、その人の生活に合った社会資源や支援を行えることを目指します。
- ⑤ 自立生活援助事業所まいさぼは2019年4月1日より新規開設いたしました。長期の入院から単身生活をされる方、グループホームから単身生活に移行される方を対象に利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、定期的な巡回又は随時の訪問、利用者からの相談対応等により、利用者の状況を把握し、関係機関との密接な連携の下で、利用者の意向、適正、障害の特性その他の状況及びその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的にを行い、地域で安心して暮らせることを目標としています。
- ⑥ 指定一般・特定相談支援事業所まいんの今年度目標として、職員一人ひとりが自己研鑽を行うと伴に地域のネットワークを構築し、丁寧かつ必要に応じたサービスの提供を掲げます。また地域移行支援事業・地域定着支援事業において、地域生活の維持が困難になっている方が出来る限り地域で自分らしい安心した生活を送れるように、必要なサービスの調整や支援を行います。また、計画相談では個別ニーズに対応できるよう、適切な相談、助言、援助等に努め、本人の希望する生活を実現できるよう、サービス等利用計画書の作成および評価を行います。

- ⑦ シェアハウスこだちは、これから地域に出て社会生活を始めようと思っているが不安が残るという方、また、家庭環境、住居等の事情により住居の確保が困難な方に対し、一定期間住居を提供し、自立に向けての日常生活の最低限の援助を行うための場です。地域の社会資源として活用していただき、定員6名の入居者が安心して生活できるよう関わります。
- ⑧ わたしたちの地域でピアサポートを進めていくことで、一人でも多くの方が地域で安心して暮らせるよう応援します。当事者と共に学び、研修や交流会を企画しスキルアップを図りながら、一人ひとりのより豊かな地域生活につなげていきます。活動の普及啓発を行い、興味や関心を持つ方や経験を重ねる方を増やし、不安の解消や自信に繋がるように努めます。また、松山市の保健所サロンにも協力していきます。
- ⑨ 法人として地域の活動に貢献すべく、地域行事への参加や啓発活動、また、行政の事業である地域移行定着支援事業、チャレンジ事業やピアサポート事業等に積極的に協力参加し、役割を果たせるべく進めていきます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び予定人数
障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	共同生活援助事業 どんまいハウス	通年	松山市内	23名	松山市内の精神障害者32名
	就労継続支援B型事業所 どんまいクラブ	通年	松山市内	6名	松山市内の精神障害者約35名
	就労継続支援B型事業所 ゆっくりクラブ	通年	松山市内	8名	松山市内の精神障害者35名
	就労継続支援B型事業所 いんさつの咲々屋	通年	松山市内	6名	松山市内の精神障害者約35名
	自立生活援助事業 まいさぼ	通年	松山市内	3名	松山市内の精神障害者約5名
障害者総合支援法に基づく相談支援事業	一般・特定相談支援事業所 まいん	通年	松山市内	4名	松山市内の精神障害者約90名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	シェアハウスこだち	通年	松山市内	45名	松山市内の精神障害者約6名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	法人ピアサポート	通年	松山市内	45名	全職員及び実習生
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	松山市のピアサポート事業 チャレンジ事業等への参加 協力、内外主催の研修会、 他事業所との交流会、勉強 会など	通年	松山市内	45名	全職員及び実習生